

第 1 期中期経営計画 2018年度上期評価委員会での意見 (集約)

4つの 経営戦略	11の 重点項目	第 1 期で取り組む内容 (概要)	評価委員会の意見 (集約)
経営戦略 1 安全・安心 なサービス 提供と必要 なサービス 開発、見直 し	主人公	№ 1 意思決定支援の推進と実践 2 質の高い個別支援計画 3 障がい理解の研鑽	1 厚労省の「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」はどう考えるか？ №1と2の項目は連動すると考えられるが、個々の意思決定のプロセスについて、記録を残すようにしておく評価しやすいのではないか？ 2 質が高い、とはどういうことか、抽象的になりがちなので、評価の指標が必要ではないか？ 3 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。
	安全・安心 なサービス 提供	4 権利擁護、虐待防止の推進 5 感染症対策 6 防災・防犯対策 7 健康管理対策 8 食事提供対策	4 今後の取り組み推進にあたって、あらためてリスクの洗い出しが必要では？これまでの検証を踏まえうえて、十分な取り組みを実施されるよう期待する。また、全職員への「浸透」について具体的に考えていただきたい。 5 事務局の説明に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。 6 利用者の安全確保という観点から、グループホームの計画作成が遅れているのはいかなものか？事業所だけでなく、グループホームの防災対策についても早急に計画作成を。 7・ 8 健康管理、食事提供に関して、アレルギーの対応等は、個別支援計画とも連動しているか？

	必要なサービス開発と見直し	<p>9 新規ホームの整備</p> <p>10 精神障がい者支援の強化</p> <p>11 新たな分野への事業参入</p> <p>12 就労・生活支援事業のあり方</p>	<p>9 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>10 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>12 ニーズ調査の具体的な方法は？対象は虹の会の利用者だけでよいのか？調査の視点を明確にして実施を。</p>
経営戦略 2 人育て、人を活かし、人を大切にする職場づくり	職員の確保	<p>13 多様な人材の雇用</p> <p>14 新卒採用活動</p> <p>15 職員配置</p>	<p>14 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p>
	人財の育成	<p>16 キャリアパス</p> <p>17 階層別研修の実施</p>	<p>16.17 キャリアパス、階層別研修の内容については、人事評価制度との整合性を十分考慮して完成させること。</p>
	働きがいのある職場環境の構築	<p>18 いきいきと働ける風土</p> <p>19 福利厚生・諸手当、休暇等の充実</p> <p>20 人事評価制度の効果的な運用と給与体系</p>	<p>18.19 有休取得率等、目標が数値化されているものについては、たとえ半期でも数値化して報告することが望ましい。</p>
経営戦略 3 透明性、安定性、効率性を追求した経営マネジメントの実践	組織統治と内部統制機能の構築	<p>21 内部管理体制の整備</p> <p>22 法令遵守</p>	<p>22 コンプライアンスに関する規程等の見直しは表面的になりがち。全職員へどのように「浸透」させるかが重要。</p>
	健全で安定した財務基盤づくり	<p>23 中期資金計画</p> <p>24 施設整備計画</p> <p>25 大規模修繕計画の作成と実行</p>	<p>24 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p>
	効率的な業務執行	<p>26 ICT活用と実践</p> <p>27 業務の効率化の推進</p>	<p>26 ICT活用のルール化を推進するとあるが、情報漏洩にもつながりかねないことなので、法人としてきっちり管理徹底を。ただし「監視的」にならないよう、何のためのICT活用かを明確に。</p> <p>27 事務局の説明に対して、評価委員か</p>

			らの質問、意見は特になし。
経営戦略4 共生社会の 実現を目指 した地域貢 献	先進的な取 り組み	28 はたらくことを通した共生社会 の構築 29 法人内雇用に向けて 30 関係機関との連携強化 31 地域への情報発信を強化	28 制度のはざまのニーズに関して、小 さなはたらく場の提供は、高島市の福祉施 設協議会等に提案してはどうか？高島市内 の各法人が連携して取り組めるとよい（滋 賀の縁創造実践センター高島版のイメー ジ）。 31 先進事例の研究とあるが、「ぎょう れつ本舗」も先進事例といえる。今後の方 向性や位置づけはどうするのか？まずはそ の情報発信が必要では？
	福祉教育の 充実	32 小中高等学校での福祉教育の推 進	32 虹の会の事業所や人材といった資源 を十分生かした取り組みを。子どもをはじ めとして多世代、また利用者が育ち合える 環境を醸成する視点で。

※№11、№13、№15、№21、№23、№25、№29、№30については未着手のため（2018年9月末現



在)、事業評価シートなし⇒上期では議論せず、下期の評価委員会でまとめて評価。

2018年度上期評価委員会の様子（2018.9.28）